



生田緑地マネジメント会議ニュースレター

発行日:2025年6月

発行者:生田緑地マネジメント会議事務局

令和7年度 第1回運営会議を開催しました

令和7年5月30日(金) 17:30~20:00

生田緑地東口ビジターセンターにて本年度の第1回運営会議が開催されました。参加団体数 21 団体+委任状 5 名、Zoom 5 名、計 31 団体、傍聴 2 名、総参加者数 47 名となりました。

◇薬袋会長挨拶:本会議は、各団体がそれぞれの活動を円滑に進めるための情報共有と連携の場です。1+1 が 3 になるような、より良い取り組みを目指したい。2年後には新たな会長が選出されることを期待し、活発な議論を呼びかけました。

◇磯部緑政部長挨拶:緑化フェアを振り返ると、生田緑地らしい会場づくりができました。市民・指定管理者・行政の連携の賜物であり、感謝申し上げます。今後の取り組みとして、ばら苑の再生備を予定しており、今年度、方針を策定する予定です。川崎市みどりの基本計画について、令和9年度の改定に向け、今年度から検討を開始します。ご協力よろしくお願いします。

◇新任役員挨拶および各団体からの挨拶が行われ、自己紹介、役員交代の報告と今年の抱負等などが共有されました。

◆審議事項

①新規加入団体の紹介と審議 団体名: 生田緑地猫の会
 活動内容と実績:2005年より、生田緑地内の野良猫を減らすための TNR(捕獲・不妊去勢手術・元の場所に戻す)活動、野鳥などを捕食から守るための給餌活動を実施してきました。20 年前の約 60 匹から、現在 20 匹未満(直接管理は 7 匹)まで減少しました。
 審議: 里猫との付き合い方を学ぶ良い機会であるとの多数意見があり、全会一致の拍手をもって加入が承認されました。

②令和6年度活動報告及び令和7年度活動計画の承認

事前にメール共有された各団体の活動報告・計画について、異議なく拍手をもって承認されました。

◆報告事項

③退会団体報告:菌類懇話会 主な活動拠点が横浜市の市民の森に移行した為、退会の申出がありました。

④会員資格喪失団体の報告:向ヶ丘遊園駅周辺のまちづくりを考える会・NPO 法人 新川崎放送協会 会則に基づき、3 年以上活動報告がなく連絡も取れない 2 団体について、会員資格喪失となりました。

⑤自然環境保全管理会議からの報告・役員改選の年度にて、審議の結果、現体制継続と決定しました。

・生田緑地植生管理計画の将来像について みどりの事業調整課 生田緑地整備事務所より説明がありました。

・長者穴口斜面对策の今後の方針について緑の保全整備課より 説明と意見交換がありました。

・「岡本太郎美術館」防水改修工事に伴う植栽の取り扱いについて説明と意見交換がありました。



第一回運営会議。



薬袋会長



磯部緑政部長

⑤6年度は対面会議を1回開催。主な議題は、ナラ枯れ後の植生管理計画の将来像についてでした。

・野鳥の森地区を通行止めとし、今後伐採工事を実施する方向で検討中です。

・里山倶楽部は、毎週土曜日に活動しています。新たに植生調査ボランティアも開始しました。

⑥ホテルの国観察会2025の報告

申し込みは定員500名に対し、1568名(498件)の応募があり、抽選倍率は3.1倍。当選者には連絡済。とんもり谷戸でもホテルの育成活動が行われておりますが、過度な宣伝は控える方針です。

⑦生田緑地ビジョンアクションプラン、ばら苑管理運営整備方針、長尾3丁目土地等活用事業について
生田緑地ビジョンを令和6年5月改定し、令和7年5月に今年度から5年間の短期・中期計画である生田緑地ビジョンアクションプランを策定します。

ばら苑・新たなミュージアム：市民文化局と連携し、東口地区の魅力向上を目指します。配置等については今年度中に方向性を示す予定です。長尾3丁目土地活用事業：民間事業者からの活用提案を募る「対話」を実施中。質疑応答：計画策定プロセスにおいて、早い段階での情報共有と市民意見の反映を求める意見が出されました。川崎市からは、まだ未確定段階での公表の難しさもある中で、今後の情報提供に努めると回答がありました。

⑦緑化フェア報告と紹介パネルの今後について

フェアは来場者数約68万人(3会場計162万人)で盛況に終了しました。市民協働の取り組み(シティロゲイン、熱気球など)が好評でした。今後の活動に繋げていく方針です。

グリーンコミュニティ推進室

展示した活動紹介パネルの活用方法について、各団体に意向を確認中との報告がありました。

事務局

⑥新たなミュージアムに関する基本計画(案)の進捗報告が行われました。

市民文化振興室

⑦緑化フェアプロジェクト報告

緑化フェア推進室/PJTリーダー

・フェアボランティアの活動：秋開催30日間で延べ1000名が参加、準備期間で1300名が活動。会場花壇管理や会場サービスで活躍頂きました。秋会期後の交流会を経て、春会期に向けたボランティア育成を行います。

・秋開催のシンポジウム企画一覧から実施が決定した主なイベント：「かわさき色ものがたり」・「生田緑地から出かけよう！川崎シティロゲイン」・「住民本屋～お散歩本棚～」・「世界へ届け！100人のシャボン玉で生田緑地をし泡せ(幸せ)で埋め尽くそう！！」・「生田緑地で外遊びを楽しもう！話そう！考えよう！」・「空から生田緑地を眺めてみたい熱気球体験イベント」。

⑧緑化フェア「思いっきり外遊び 生田緑地」の報告

ままとんきっず

3月30日に実施。自由工作、昔遊び、絵の具アートなどを実施し、親子連れで盛況でした。アンケートでは「広い場所で自由に遊びたい」「自然の物で遊びたい」といった意見が多くありました。

⇒町会からのご意見：是非連携してこのような取り組みを広げさせていただきたいとのご意見がありました。

⑨令和7年度の園内工事、その他報告

生田緑地整備事務所

主な工事：日本民家園 工藤家そばの斜面对策工事、中央園路の舗装改修工事、東生田2丁目付近の石積み擁壁の耐震工事となります。ナラ枯れ対策は、園路沿いや危険箇所を中心に、順次伐採を実施します。

⑩春のばら苑の報告 公園緑地協会 杉本園長 春の一般公開は来場者数59,260名と好調だった。

⑪令和7年度の入口看板作成「向の岡工業高校との協働」本年度はくらやみ坂を予定しています。

事務局

⑫今後の主なイベント開催のご案内(生田緑地・近隣地域イベント)

指定管理者

7/19: 民家園通り商店会 夏祭り 10/4: お月見フェスタ 10/18: 区民祭 11/15, 16: 食の祭典

⑬指定管理者自主事業：6月28日(金)「青空フェスタ」緑地内発生材の活用をテーマにイベントを開催します。

～生田緑地ビジョン基本理念(生田緑地のめざす将来像)～

豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき 緑がつなげる持続可能な生田緑地の実現

●お問い合わせ先：生田緑地マネジメント会議事務局 東口ビル7階 Tel044-933-2300

川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 Tel044-934-8577